

保護者の皆様

狛江市立狛江第五小学校長

細谷 俊太郎

7月の安全指導について

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。7月の安全指導は下記のとおりです。間近に迫った夏休みを事故や怪我なく安全に過ごすため、「自分の身は自分で守る」ことの大切さを、ご家庭でもあらためてご確認ください。

○実施内容【危険から身を守ろう】

☆安全な生活(いかのおすし)

- ・犯罪に巻き込まれないための約束ごととして、「いかのおすし」と覚えます。

※身の危険を感じた場合は大人に伝え直ちに110番に通報してもらいましょう。

いか	… 知らない人について	いか	ない
の	… 他人の車に	の	らない
お	… おおごえを出す (防犯ブザーを鳴らす)		
す	…	す	ぐににげる
し	… 何かあったら、すぐに	し	らせる (家の人・見守り110番)

○とにかく逃げる

- ・いざというときに身を守る最善の方法は、すぐにその場から「逃げること」です。
- ・怖い目にあったとき、震えてしまって大きな声を出すことができないことがあります。そういう時には、とにかく近くの大人の元へ走って、助けを求めます。
- ・近くに大人がいない時には、お店やすぐそばの家に入って、助けを求めます。
- ・家族と一緒に、近所の「見守り110ばん」の場所を確かめておきます。

○防犯ブザーを持って出かける

- ・家から出るときには、必ず防犯ブザーを持っていきます。
- ・いざというときすぐに使えるよう、ズボンやスカートのつりひもやランドセルなどの手の届く位置につけておくようにしておきます。
- ・時々鳴らして、きちんと音が出ることを確認しておきます。

○行き先、一緒に過ごす人、帰る時間を家の人に伝える

- ・「どこに」「だれと」「何時に帰る」をお家の人に伝えてから出かけます。
(携帯電話等のGPS機能は、安全を担保するものではありません。)
- ・子供どうして行動するときには必要がないので、金銭や高価な物を持っていかないようにします。

☆自分を大切にしよう(SOSを出そう)

- ・一人で悩まず、不安なことや心配なことは必ず相談しましょう。お家の人、先生、スクール・カウンセラーなど、誰でもよいので相談しましょう。
- ・自分の体も命も大切にしましょう。危険な行動をせず、何かあったら助けを求めましょう。

担当 生活指導主任 井上 愛子